

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のWeb3サービスの実証

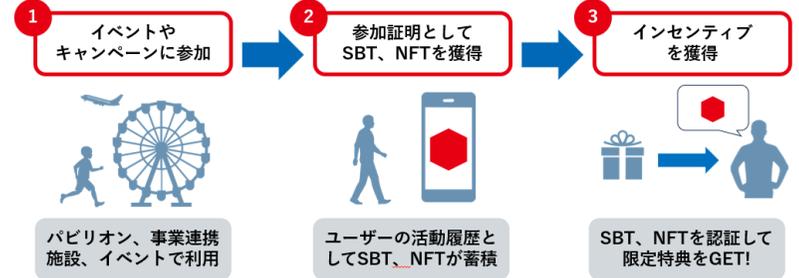
- 2025年の大阪・関西万博では、会期前から多くの場面で万博を盛り上げ、万博への参加意欲を高めることを目的として、「EXPO2025デジタルウォレットサービス」を運用
- 本サービスは、サーバー管理型のWeb2、ブロックチェーンのWeb3の管理手法を用いたデュアル方式のアプリで、SBT※・NFTを活用して万博機運醸成に資するパビリオン、外部事業者との連携を図るWeb3サービスを展開
 ※SBT（Soul Bound Token）：ブロックチェーンを基盤にして作成されたNFT（代替不可能なデジタルデータ）の一種で、他人に譲渡不可。



2023年 11月1日 リリース
EXPO2025 デジタルウォレット



SBT、NFTの発行によるインセンティブ構造の流れ



事業連携を通じて実社会で活用されるSBT、NFTのユースケースを創出を目指します。

Use case① （一社）大阪外食産業協会（ORA）との連携

キャンペーン対象店舗

千鳥、高野屋、ミヅヤ、どがの屋、どろの屋、牛一、大塚水産、国産海産、がん。

キャンペーン期間：2023年 11月10日～12月16日

1万店を超えるスケールのORA加盟店舗との連携により、店舗特典を利用可能なクーポンNFTを配信

Use case② JR西日本グループとの連携

大阪環状線
NFT駅スタンプラリー
 2023.11.30(木)～2024.3.24(日)

駅をめぐる、NFTをゲット!

万博開幕500日前である11月30日より「大阪環状線NFT駅スタンプラリー」を実施